

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 3 年 2 月 14 日

【事業所概要（事業所記入）】

|         |                                    |           |  |
|---------|------------------------------------|-----------|--|
| 事業所番号   | 3470203245                         |           |  |
| 法人名     | 有限会社 美泉                            |           |  |
| 事業所名    | グループホームよってきんさい草津                   |           |  |
| 所在地     | 広島市西区草津南一丁目6番12号 (電話) 082-501-4622 |           |  |
| 自己評価作成日 | 令和3年1月10日                          | 評価結果市町受理日 |  |

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

|             |   |
|-------------|---|
| 基本情報リンク先URL | <a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3470203245-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3470203245-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a> |
|-------------|---|

【評価機関概要（評価機関記入）】

|       |                      |
|-------|----------------------|
| 評価機関名 | 一般社団法人広島県シルバーサービス振興会 |
| 所在地   | 広島市南区皆実町一丁目6-29      |
| 訪問調査日 | 令和3年1月29日            |

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

民家改造型のグループホームで家庭的な雰囲気を大切にしています。ホームの隣には広い公園があり、気候の良い時には、歩行訓練と気分転換を兼ねて散歩に出かけています。今年は新型コロナウイルス感染症でほとんどの行事が中止ですが、町内会に加入し祭りや行事を通して地域の方々と交流する楽しみがあります。ホームでの看取りを継続し、本人や家族にこのホームでよかったと思っただけのよう努力しています。新型コロナウイルス感染症に対しては、室内の消毒、換気、職員の体調管理を徹底し、家族の協力を得て面会を制限し予防に努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

一軒家の民家を改築した事業所である。中はふすま越しに部屋が連なり、台所と繋がったリビングでは食事準備の匂いや音の中、一般家庭の様な雰囲気や生活感が感じられ心地良く過ごせるよう配慮している。会社理念を基に職員全員で事業所目標を策定し、利用者が安心して過ごせるように寄り添い、心身機能を維持していけることを明確に定め日々の支援に尽力している。隣接する広大な公園も日々の散歩で活用する中、幼稚園児や近隣住民との交流があり地域でのふれあいを感じられる場となっている。毎週火曜日の夕食は「お刺身の日」として利用者の楽しみとして定着しており、普段から利用者の意向や思いにしっかりと目を向け、利用者の立場に立った視点と一人ひとりのペースや個性に配慮のあるケアを実践している。看取りも主治医や法人間の看護師との連携を図り、チームとして人生の最後まで一緒に共に過ごす思いを強く持ち実践に努めている。

| 自己評価       | 外部評価 | 項目   | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|------------|------|--|---|--|-------------------|
|            |      |  | 実施状況  | 実施状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I 理念に基づく運営 |      |  |   |  |                   |
| 1          | 1    | ○理念の共有と実践<br><br>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。                    | 美泉開設当初よりの理念をもとに、ホームで年間目標をたて、半年で振り返りをし取り組んでいる。   | 会社の理念を朝礼で唱和している。会社の年間目標に加え、毎年、事業所独自の目標も職員で意見を出し合い策定し、理念と目標を念頭に日々の支援に努めている。事業所目標は半年毎に振り返りを行い、達成度を踏まえて意識を持ち取り組むことでサービスの質の向上に繋げている。                 |                   |
| 2          | 2    | ○事業所と地域とのつきあい<br><br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。                    | 町内会に加入し、地域の祭りや行事に参加している。散歩や買い物等で顔を合わせる方には積極的に挨拶をし、顔を覚えてもらっている。  | 今年度はコロナ禍のため地域行事や交流は中止であるが、毎年行事や祭りを通じて交流を持ち、事業所に隣接する広大な公園において、とんどの椅子の貸出しが恒例である。住民からも気さくに声を掛けてもらえ関係も構築されている。散歩の幼稚園児とのふれあいや近所の方との挨拶など日常的な交流が定着している。 |                   |
| 3          |      | ○事業所の力を活かした地域貢献<br><br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。                  | 推進会議や散歩時など質問を受けたときにお答えする程度でしか貢献できていない。  |  |                   |
| 4          | 3    | ○運営推進会議を活かした取組み<br><br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。 | 運営推進会議では、活動状況を報告し、質問や意見を頂いている。町内会の活動、行事を教えて頂き参加していたが、今年は新型コロナウイルス感染症の為、町内会のすべての行事が中止になりとても残念な思いをしている。 | 会議に町内会長や民生委員、地域包括支援センター職員の参加があり、事業所の報告を詳しく行い、活動に理解が得られている。地域からも行事や活動の連絡があるなど活発に意見交換がなされている。現在、会議開催は中止し書面での報告となっているが、今後はリモートでの開催など検討していきたい意向である。  |                   |
| 5          | 4    | ○市町との連携<br><br>市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。            | 運営推進会議に地域包括支援センターより出席して頂き、ホームの状況を伝えている。定期的な福祉課の面談時にはホームでの様子を伝え、受診時にも状況を伝えている。                         | 運営推進会議にて地域包括支援センターとの意見交換が行えている。市への相談事も会社本部との協議を行い、本部より統括して市と連携を取りながら確認し、事業所も周知し共有を深めている。福祉課とも定期的に連携を図り、普段の様子や受診の状況などを共有し利用者の支援を行っている。            |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目  | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|------|------|---|--|--|-------------------|
|      |      |   | 実施状況   | 実施状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 6    | 5    | <p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p> | <p>研修で知識を共有し、職員同士注意し合いながら取り組んでいる。日中、玄関の施錠はせず、椅子や車椅子に座りっぱなしにしないよう、ベッド柵やベッドを壁につけないよう等気を付け取り組んでいる。</p>                        | <p>法人の管理者会議において、身体拘束防止適正化委員会を開催し、事業所に持ち帰り職員にも伝達にて周知を図っている。事業所では身体拘束のケースはなく、これほと思うことは会議で話し合い解決に向けて検討をしている。スピーチロックも意識しており、職員同士でも気付いた時に注意喚起がなされている。</p> |                   |
| 7    |      | <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>                                      | <p>研修に参加し得た知識は申し送りノート等で共有している。「おかしい」と感じたときには、お互い注意し合い、その都度話し合っている。</p>   |  |                   |
| 8    |      | <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>                                 | <p>研修に参加することで知識を得ている。必要であれば、施設代表者に相談の上、対応している。</p>   |  |                   |
| 9    |      | <p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>  | <p>契約時には、契約書や重要事項説明書を元に、本人、家族が納得できるまで丁寧に説明している。契約後もいつでも問い合わせ頂ける事を伝えている。</p>  |  |                   |
| 10   | 6    | <p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>   | <p>玄関に意見箱を設置している。面会時や電話を頂いたときに意見や要望がないか伺っている。利用者からの要望は日常生活を通して聞き、上司に報告、相談し対応している。直接代表者に電話される方もある。意見や要望等あれば推進会議で報告している。</p> | <p>日々の生活の中や会話から利用者の意向を確認している。食べることの希望が多くあり、できる限りの実現に努めている。家族へも手紙や電話連絡で様子を伝えながら、現状での思いや要望を確認し把握している。パットの使用量が増えたことの話にこまめにトイレ誘導を支援し使用量の軽減を行った例がある。</p>  |                   |

| 自己評価                        | 外部評価 | 項目   | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|-----------------------------|------|--|---|---|-------------------|
|                             |      |  | 実施状況  | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 11                          | 7    | <p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>                                      | <p>管理者は申し送りやミーティング時に意見等聞いている。管理者会議に持ち寄り、検討し改善できる事は改善している。</p>       | <p>管理者はミーティングや日々の業務内で職員とのコミュニケーションを図っており、思いの把握がなされ、職員も伝えやすい関係が構築されている。働きやすくする配慮もなされており、車椅子の方の離床介助を夜勤者一人では危険という意見に、早出が出勤後に二人介助で離床介助を行える体制に変更した例などある。</p> |                   |
| 12                          |      | <p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>      | <p>個別面談や日々のやり取りの中で把握している。研修や家庭状況の変化などに応じて、勤務の調整をしている。</p>           |   |                   |
| 13                          |      | <p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>          | <p>勤務年数に応じて、その人に合った研修等へ参加する機会を設けている。</p>                            |   |                   |
| 14                          |      | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p> | <p>代表者は同業者のネットワークに加入し、必要に応じて研修など参加できるよう取組みをしている。</p>                |   |                   |
| <b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |      |  |   |   |                   |
| 15                          |      | <p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>        | <p>入居前、自宅や病院に訪問し、困っている事や本人の気持ち等を聞き、必要であれば何度でも訪問し安心して頂けるよう努めている。</p> |   |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|------|------|--|---|--|-------------------|
|      |      |  | 実施状況  | 実施状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 16   |      | <p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>     | <p>サービス利用相談があった時点より、家族の困りごとや不安ごと等を丁寧に聞き、家族の立場に立って対応策を考え、提案している。安心、納得して頂けるよう努めている。</p> |  |                   |
| 17   |      | <p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p> | <p>本人や家族より話を伺い、必要時には地域のケアマネに相談したりしている。ホームに入居するにあたり、お試して利用して頂く事もある。</p>                |  |                   |
| 18   |      | <p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>                    | <p>食事作りや洗濯等、利用者と職員が一緒に作業することで、助け合いながら生活している。利用者の得意な事が継続できるよう努めている。</p>                |  |                   |
| 19   |      | <p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>     | <p>毎月、家族に手紙で様子を伝えている。面会時に家族より頂いた意見も参考に利用者のケアにあたっている。</p>                              |  |                   |
| 20   | 8    | <p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>                 | <p>馴染みの病院にお連れしたり、友人や知人の訪問時には居室でゆっくり話が出来るよう支援している。</p>                                 | <p>入居時に利用者個々の生活や馴染みの関係や事柄を聞き取り、把握した上で利用者の思いを繋げることを大切にしている。現在は面会は中止としているが、友人と電話や手紙のやり取りを支援したり、大事にしてきた宗教を繋げたりと、馴染みが継続できる支援が行われている。</p> |                   |

| 自己評価                              | 外部評価 | 項目   | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|-----------------------------------|------|--|---|--|-------------------|
|                                   |      |  | 実施状況  | 実施状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 21                                |      | ○利用者同士の関係の支援<br><br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。                | 利用者同士の相性を考慮し席を決めている。耳が聞こえない方もあるので、職員が間に入り、筆談で会話を手伝えることもある。                            |  |                   |
| 22                                |      | ○関係を断ち切らない取組み<br><br>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。 | 入院や転居先には情報提供を行っている。退去後も要望があれば相談に応じている。  |  |                   |
| <b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |   |  |                   |
| 23                                | 9    | ○思いや意向の把握<br><br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。                        | センター方式を用い、利用者や家族、関係者から情報収集を行っている。日々の会話や行動、表情から思いをくみ取るよう努め、職員で検討してプランに活かしている。          | 関わりや会話にて利用者の意向を引き出せるように努め、担当職員がより深く関わりを持ち個人の思いを詳細に把握し職員全員で共有している。一人であることが好きであるが寂しい気持ちもある方に、ふすまを開け皆でいる雰囲気を感じて貰い、気持ちが落ち着いたら出てきてもらうなど心に寄り添った支援を行っている。 |                   |
| 24                                |      | ○これまでの暮らしの把握<br><br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。                    | 利用者や家族、関係者よりこれまでの様子の聞き取りをし、把握に努めている。何気ない会話からこれまでの暮らしを聞くこともあり日々の関わりの大切さを感じている。         |  |                   |
| 25                                |      | ○暮らしの現状の把握<br><br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。                                  | 入居前は利用者や家族より聞き取りを行い、入居後は日々の関わりにより、できる事できない事や出来そうなことなどの把握に努め、記録し職員で共有し、利用者の機能維持に努めている。 |  |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|------|------|--|---|--|-------------------|
|      |      |  | 実施状況  | 実施状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 26   | 10   | <p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p> | <p>家族の面会時を利用し意見や要望を聞いている。日々の様子や会話等から、利用者の課題が見えてくることもあるので申し送り時やミーティング時に話し合い、介護計画を作成している。</p>               | <p>センター方式でアセスメントを行う他、担当職員が深く関わりを持ち詳細な情報を把握し、本人、家族の思いや意向を基に主治医や法人本部の看護師との連携を図り介護計画を作成している。3ヶ月毎にモニタリングを行い、期間ごとに色を変え記載することで計画の進捗が分かりやすく把握でき見直しに活かされている。</p> |                   |
| 27   |      | <p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>                        | <p>生活日誌に個別に記録している。個々で工夫し上手くいったケアは、申し送りノートを活用し共有している。それらを介護計画の見直しにも活用している。</p>                             |  |                   |
| 28   |      | <p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>               | <p>必要時には通院や入院の準備や付添を行っている。入院時、家族が面会や洗濯が出来ない時には、職員が行っている。</p>  |  |                   |
| 29   |      | <p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>                         | <p>近隣公園への散歩や買い物へ同行している。町内の行事に参加できるよう、町内会長や民生委員に協力頂いている。</p>   |  |                   |
| 30   | 11   | <p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>                    | <p>事業所の家庭医は決まっているが、入居前の病院を希望される場合には継続している。往診や受診し必要時には検査を受け、入院が必要な際には病状に合った病院を紹介して頂き、治療が受けられるよう支援している。</p> | <p>入居時にこれまでのかかりつけ医を選べることの説明を行うが、現在は全利用者が協力医を主治医としている。2週間ごとの往診があり、体調が変化する都度対応がなされている。専門科への受診もまず主治医に相談し、指示を得ながら適切な診療が受けられるように対応している。</p>                   |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 自己評価   | 外部評価  |   |
|------|------|--|--|---|---|
|      |      |  | 実施状況   | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容   |
| 31   |      | <p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>                      | <p>毎日の生活の中で、状態の変化や気づきを法人の看護師に連絡し相談している。看護師は医師に連絡し指示を受け、必要時には受診に付添、情報提供を行い、早期に適切な医療が受けられるよう支援している。</p>                |   |   |
| 32   |      | <p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>  | <p>入院時には介護要約などで情報提供をしている。入院中は面会が可能であれば面会に行き、経過を伺いながら、地域連携室とも連絡を取り合い、早期に退院できるよう支援している。</p>                            |   |   |
| 33   | 12   | <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p> | <p>入居時に重度化した場合の説明を行い、利用者と家族の意向を聞いている。重度化した場合には、改めて説明し意向を確認し、家庭医、スタッフ、看護師で話し合い支援している。変化する病状に合わせ、適宜説明と意向確認し支援している。</p> | <p>看取りを行っており、今年度も1名最後まで寄り添い支援を行った。入居時に重度化した場合の説明を行い、利用者の状態の変化に合わせ、改めて思いや意向を確認し、主治医や看護師の意見を聞き、チームとしてケアプランを作成している。変化する病状や思いに合わせ、適宜説明や意向を確認しサポートしている。</p>  | <p>看取りに意欲的な姿勢の取り組みがありますが、研修の実施が十分でない状況があります。より利用者や家族の思いや意向に沿い、質の高い終末期の支援がなされるように職員の知識や技術の向上、看取りの体制整備を行っていることを期待します。</p> |
| 34   |      | <p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>   | <p>研修を通して緊急時の対応を学んでいる。</p>   |   |   |
| 35   | 13   | <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>   | <p>避難訓練を年2回行い、避難経路や通報の確認を行っている。法人全体で緊急時の連絡網を作り、事業所の近所の職員が駆けつける体制を整えている。</p>  | <p>年2回定期的に避難訓練を実施している。しばらくの期間、消防署との連携した訓練がなされておらず、昨年末に予定したのもコロナ禍の情勢で中止となるが、継続して連携することを計画している。災害時に近隣の法人施設への移動など連携体制が構築され、自治会やお助け隊など地域や近所の協力も了解を得ている。</p> |   |



| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|------|------|--|--|---|-------------------|
|      |      |  | 実施状況   | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 36   | 14   | <p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。</p>                | <p>排泄の失敗等は他の入居者に気づかれないよう、静かに誘導する等している。つじつまが合わない話でも否定せず最後まで話を聞きくようにしている。</p>              | <p>プライバシー保護や接遇の研修を年間の計画に組み込み職員の資質の向上に努めている。利用者の話を聞く際も、否定をせずそのままの思いや感情を受け入れ最後まで聴く姿勢を持ち、利用者個人の思いや目線に立ち理解し支援することに尽力している。</p>                 |                   |
| 37   |      | <p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。</p>                     | <p>飲みたいものや着たい服など選択できる場面を作っている。迷ってしまい自己決定出来にくい方には、選択肢を絞ってお聞きしている。耳の不自由な方には筆談でお聞きしている。</p> |   |                   |
| 38   |      | <p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p> | <p>日課は決まっているが、体調や気持ちの変化に合わせて過ごして頂いている。なるべく利用者の希望を聞き、可能な限り希望に添うよう支援している。</p>              |   |                   |
| 39   |      | <p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。</p>                                  | <p>服を自分で選ぶことが難しい方には職員が提案し決めて頂く事もある。定期的に美容師さんに自分好みの髪型にカットしてもらい、行事時にはお化粧品を楽しんで頂いている。</p>   |   |                   |
| 40   | 15   | <p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>     | <p>食材の下ごしらえや盛り付けを一緒に行っている。苦手な食材は別の食材に替えて提供している。酔でむせこまれる方には、味付けを変えている。</p>                | <p>献立は業者が作成し決まった食材が届く形であり、事業所で調理して出来立ての温かい食事を提供している。利用者の意向を聞きながらパン食を取り入れたり、毎週火曜日はお刺身の日として提供している。外食などを自粛している分、調理レクに力を入れて楽しみとなるよう努めている。</p> |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|------|------|--|---|---|-------------------|
|      |      |  | 実施状況  | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41   |      | <p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>            | <p>食事量や水分量は生活日誌に記録し、必要に応じて分食やこまめな水分補給を進めている。摂取量が少なくカロリーが足りない場合には高カロリー食を摂取して頂いている。</p>                         |   |                   |
| 42   |      | <p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>                    | <p>毎食後、本人による口腔ケアを行い、必要に応じて職員が仕上げ磨きや介助を行っている。</p>  |   |                   |
| 43   | 16   | <p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>     | <p>生活日誌の記録を活用し、排泄パターンの把握に努めている。定期的にトイレ誘導を行ったり、声掛けを行い失敗を減らすよう努めている。</p>  | <p>排泄の状況を生活日誌に記録し、排便チェック表とともに個人の排泄パターンを把握している。自尊心に配慮しながら適宜トイレへの誘導を行っている。取り組みの結果として排泄の失敗の軽減や、リハビリパンツ使用の方が布パンツで過ごせるようになった例もある。</p>                          |                   |
| 44   |      | <p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>                     | <p>排便チェック表で把握している。運動や起床時の牛乳や白湯の飲用、ごぼう等の繊維の多い食べ物を食べやすくするため、切り方や調理を工夫している。</p>                                  |   |                   |
| 45   | 17   | <p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p> | <p>最低週3回の入浴を曜日を決めて行っているが、その日の体調や気分に合わせて、翌日に変更する等対応している。寒い日には脱衣場を温め、脱衣しやすくしている。季節に合わせてしょうぶ湯、柚子湯を楽しんで頂いている。</p> | <p>週3回の回数で入浴を行っている。時間も個々の体調や気分に合わせて提供し、気分がのらない時などは、レクリエーションで楽しく過ごし気分も良い様子の時に再度声をかけ入って頂くなど言葉かけとともに工夫がみられる。希望により足浴を行うことや季節においてゆず湯や菖蒲湯を行うなど心地良い入浴の支援がある。</p> |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|------|------|--|---|---|-------------------|
|      |      |  | 実施状況  | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 46   |      | <p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>   | <p>食後、希望に合わせて午睡して頂いたり、ソファでゆっくり過ごして頂いている。日中は散歩や活動をし、夜間の安眠へとつなげている。夜間のトイレ誘導は、それぞれの睡眠に合った誘導をしている。定期的なシーツ交換と布団干しを行っている。</p> |   |                   |
| 47   |      | <p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>   | <p>利用者の生活日誌に薬の説明書を付け、誰でも確認できるようにしている。臨時薬服用時には、服用時間、薬名を記入し体調の変化に注意し観察している。</p>   |   |                   |
| 48   |      | <p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>                              | <p>一人ひとりの特技や習慣を活かし、生活の中で役割を持って頂いている。買い物へ一緒に行き、おやつを選んでもらったり、献立に希望を取り入れている。</p>   |   |                   |
| 49   | 18   | <p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p> | <p>日々の散歩や買い物、町内の祭り、行事など出かける機会を設けていたが、今年は新型コロナウイルスの為思うように出かけられていない。</p>  | <p>新型コロナウイルス感染防止対策にて日常の買い物や外出行事などは自粛している。町内の祭りや様々な地域行事も中止になっていることから外出の機会は少ないが、隣接する公園に少人数で散歩を日常的に行い気分転換を図るなど行っている。</p> |                   |
| 50   |      | <p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>                              | <p>預り金は出納帳を作り管理している。外出時には支払いなどできる事をして頂いている。</p>   |   |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|------|------|--|---|---|-------------------|
|      |      |  | 実施状況  | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 51   |      | <p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>   | <p>要望があれば電話の取次ぎをしたり、手紙の投函を支援している。</p>   |   |                   |
| 52   | 19   | <p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p> | <p>リビングや玄関には季節の花を飾り、壁画や置物で季節を感じて頂いている。ソファでは、好みのひざ掛けやクッションを使用して頂き、心地よく過ごせるよう配慮している。浴室は、温度差を少なくするため冬はストーブ、夏は扇風機を使用している。</p> | <p>民家ならではの生活感のある家庭的な雰囲気であり、リビングにはソファが配置されゆっくり過ごすことができる。キッチンとつながっていることで、食事準備の匂いや音が感じられ、生活音や利用者同士の話し声もよく聞こえる。五感に刺激のある居心地の良い共用空間となっている。</p>          |                   |
| 53   |      | <p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>  | <p>リビングにソファを置きくつろげるようにしている。一人になりたい時など、居室で過ごされたり、玄関にあるソファで外を眺めながら過ごされている。</p>  |   |                   |
| 54   | 20   | <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>  | <p>家具は自宅で使用されていたものを持ち込んで頂いている。鏡台や仏壇等本人や家族と相談しながら、設置している。タンスの何段目に何を入れるか等、本人が使いやすいよう好みに合わせている。</p>                          | <p>入居前に事前に自宅へ訪問し、持参物の検討を一緒に行い大事にしている物が持ち込めるよう支援している。使い慣れたタンスや調度品をはじめ、喪服の着物や絵画、アルバムや貴金属といった身の回りで気にしている物が、使いやすいように収納、整備され、個々に居心地良く過ごせる居室となっている。</p> |                   |
| 55   |      | <p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>  | <p>トイレやふろには表示をしわかりやすくしている。浴室や廊下には手すりをつけている。浴室には入浴サポート用に踏台を置いている。</p>  |   |                   |

| V アウトカム項目 |  |   |   |
|-----------|--|---|---|
| 56        | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。                     | ○ | ①ほぼ全ての利用者の<br>②利用者の3分の2くらいの<br>③利用者の3分の1くらいの<br>④ほとんど掴んでいない |
| 57        | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある                         | ○ | ①毎日ある<br>②数日に1回程度ある<br>③たまにある<br>④ほとんどない                    |
| 58        | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている                            | ○ | ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の3分の2くらいが<br>③利用者の3分の1くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 59        | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている                | ○ | ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の3分の2くらいが<br>③利用者の3分の1くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 60        | 利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている                          | ○ | ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の3分の2くらいが<br>③利用者の3分の1くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 61        | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている                    | ○ | ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の3分の2くらいが<br>③利用者の3分の1くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 62        | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている            | ○ | ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の3分の2くらいが<br>③利用者の3分の1くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 63        | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ○ | ①ほぼ全ての家族と<br>②家族の3分の2くらいと<br>③家族の3分の1くらいと<br>④ほとんどできていない    |

|    |   |   |   |
|----|---|---|---|
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている                          | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように<br><input type="radio"/> ②数日に1回程度<br><input type="radio"/> ③たまに<br><input type="radio"/> ④ほとんどない                    |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている | ○ | <input type="radio"/> ①大いに増えている<br><input type="radio"/> ②少しずつ増えている<br><input type="radio"/> ③あまり増えていない<br><input type="radio"/> ④全くいない             |
| 66 | 職員は、生き活きと働けている  | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が<br><input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが<br><input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが<br><input type="radio"/> ④ほとんどいない       |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                             | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が<br><input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが<br><input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが<br><input type="radio"/> ④ほとんどいない    |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                         | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が<br><input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが<br><input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが<br><input type="radio"/> ④ほとんどできていない |

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームよってきんさい草津

作成日 令和3年4月9日

【目標達成計画】

| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点, 課題          | 目標            | 目標達成に向けた具体的な取組み内容                        | 目標達成に要する期間 |
|------|------|------------------------|---------------|--|------------|
| 1    | 4    | 運営推進会議のメンバーや内容を充実させたい。 | 運営推進会議の充実を図る。 | 会議内容を検討し、工夫する。消防や警察、地域に関わりのある方へ参加をお願いする。 | 1年         |
| 2    |      |                        |               |  |            |
| 3    |      |                        |               |  |            |
| 4    |      |                        |               |  |            |
| 5    |      |                        |               |  |            |
| 6    |      |                        |               |  |            |
| 7    |      |                        |               |  |            |

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。